

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：5/18～5/22

・ 5/18(月)

検察庁法改正案、コロナ影響と GDP、宇宙作戦隊が自衛隊に発足、WHO の年次総会などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題と考えられる場面は見られませんでした。なお、検察庁法改正案および宇宙作戦隊が自衛隊に発足については検証者の所感を記しました。

・ 5/19(火)

検察庁法改正案、河井案里議員の秘書の訴訟、WHO 年次総会などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、問題と考えられる場面は特に見られませんでした。なお、検察庁法改正案については検証者の所感を記しました。

・ 5/20(水)

10 万円給付金、黒川検事長に賭け麻雀疑惑、緊急事態宣言解除後の観光などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の観点からは問題と考えられる場面は特には見られませんでした。

・ 5/21(木)

黒川検事長が辞任、桜を見る会で刑事告発、中国全人代、IOC バッハ会長の発言、外国特派員協会が謝罪などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、黒川検事長が辞任、および中国全人代については検証者の所感を記しました。

・ 5/22(金)

検察庁法改正案、コロナ禍の中で中国全人代が開催、全人代で香港「国家安全法」審議へなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、検察庁法改正案については放送法上問題と考えられる要素が見られました。また、検察庁法改正案については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年5月18日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 尾木直樹（教育評論家）		
検証テーマ：検察庁法改正案、コロナ影響とGDP、宇宙作戦隊が自衛隊に発足、WHOの年次総会		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検察庁法改正案 ・ 緊急事態宣言解除後初の平日 ・ 各地で学校再開 ・ オンライン授業と広がる教育格差 ・ ニューヨーク州知事が検査体制をアピール ・ イタリアで外出禁止が解除 ・ コロナ受け入れ病院ほど経営状況が悪化 ・ ANAが医療用ガウンを縫製 ・ コロナ影響とGDP ・ 富士山もコロナで閉鎖 ・ 東京のアーティスト支援に応募が殺到 ・ ソフトバンクグループが過去最大の赤字 ・ 宇宙作戦隊が自衛隊に発足 ・ スポーツ報道 ・ WHOの年次総会 ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検察庁法改正案：結論→特に問題なし <p>小川キャスターの「さて、多くの著名人を含む世論が政治を動かしたということになるんでしょうか、検察幹部の定年を内閣の判断で延長できるようにする法案について急転直下です。政府与党は今国会での成立を断念しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>"安倍総理「国民の皆様のご理解なくして前に勧めていくことはできないと考えます、この法案については国民の皆様から様々なご批判がありました、」</p> <p>ナレ「検察幹部の定年を内閣の判断で延長できる検察庁法改正案の今国会での成立を断念することを表明した安倍総理。急転直下の判断に与党からも。」</p> <p>"岸田文雄（自民党政調会長）「新型コロナウイルス対策を最優先にし、そうした判断はやむを得ないのではないかと。」</p> <p>石破茂（自民党元幹事長）「検察官というのは総理大臣から市井の人まですべての人を起訴しうる、多くが今国会の成立に反対しておられる以上、今回の判断は適切かつ賢明なものかと。」</p> <p>"ナレ「成立断念の大きなきっかけとなったのはインターネット上に溢れた著名人を含む抗議の声でした。小泉今</p>		

日子さん。]

株式会社明後日 (Twitter) 「もう一度言うておきます。 #検察庁法改正案に抗議します」

ナレ「俳優の井浦新さん。」

井浦新 | ARATAiura 「もうこれ以上、保身のために都合よく法律も政治も捻じ曲げないで下さい。」

ナレ「Twitter 上では関連する書き込みが一気に数百万件を超えたと見られています。 ”

”問題視されているのは内閣の判断で検察幹部の定年を延長できるという規定。これにより内閣が検察の捜査に介入できるのではないかと、そんな懸念があるのです、先週の国会では森法務大臣の代わりに武田大臣が答弁に立ちました。」

武田良太 (行革相) 「法務省に聞いてもらったほうが詳しいと思うんですけども。まあ本来であれば法務省からお答えすべき内容だと思うんですけども。」

ナレ「お手上げ状態の答弁に野党が反発、金曜日になってようやく森法務大臣が出席しました。しかし、どんな基準で定年が延長されるか問われると。」

森まさこ (法相) 「新たな人事院規則ができていない段階で説明することが非常に困難なのであります。」

後藤祐一 (国民民主党衆院議員) 「国会で法案審議する意味ってなんですか。真摯な姿勢ってなんですか、何のために森大臣、ここに来たんですか。」

ナレ「さらに、一連の発端となった安倍政権に近いとされる黒川検事長の定年延長と今回の法改正は関係ないと説明、その上で法改正の理由として複雑困難な事件の捜査に対応するため、と主張していきました。過去、定年延長をしなければ対応できないような事例があったのか、問われると。」

”森まさこ「特段の事例は見当たりませんでした。」

後藤祐一「黒川さん以外にはないということよろしいですか。」

森まさこ「そのとおりでございます。」

後藤祐一「ということはこの検察庁法改正案の立法事実は黒川さんのケースしかないということをもまさに森大臣も認めたということじゃないですか。」 ”

”ナレ「先週金曜日の段階では政府与党側は今週の委員会採決の構えを崩していませんでした。」

記者「今国会での法案成立というのは揺らいでいない。という。」

森山裕 (国対委員長) 「当然であります。」

ナレ「しかし、ここに来て、なぜ成立を断念したのでしょうか。 ”

”これは公明党の山口代表の Twitter。検察庁法改正案について。」

山口那津男 (公明党代表) 「趣旨が国民に伝わるよう、政府として丁寧に説明していただきたい。」

”

”ナレ「与党党首のこの発信がさらなる反発を招きました。」

ツイート A 「またひとつのようなことってんなあー。最後は賛成するくせに、自分たちには責任ありませんってか。」

ツイート B 「公明党も与党としてご説明下さい。説明できないのであれば反対票を投じて下さい。」 ”

ナレ「更に先週金曜日には元検察トップの松尾邦弘元検事総長ら。検察 OB14 人が改正案に反対する意見書を法務省に提出。そして今日は熊崎勝彦元特捜部長ら東京地検特捜部に在籍していた元検事ら 38 人が同様の意見書

を森法務大臣あてに提出しました。こうした動きに自民党の二階幹事長は。」

二階俊博（自民党幹事長）「コロナ対策が最優先であり、喫緊の課題であります。」

ナレ「政府与党は法案の今国会での成立を断念しましたが、改めて秋の臨時国会での成立を目指す方針です。」

"野党側は、"

枝野幸男（立憲民主党代表）「ほとぼりが冷めたらこっそりと強行しようという姿勢であるというふうには言わざるを得ません。」 "

"ナレ「今回の方針に抗議の声を上げた著名人からは。」

宍戸開（俳優、Twitter）「結局のところ権力は常に人々の声をおそれているということ。」

高田彦彦（元総合格闘家、Twitter）「今は分が悪いから先送り。隙あらば、この発想は懲りない悪巧みだな。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「星さん、先週末までは今週中の成立をめざすという構えだった政府与党ですけれども、この急転直下、断念という判断、これはどうしてでしょうか。」

星浩「そうですね、その批判が強いというだけではなく、どんどん広がってきたということがあると思いますね。SNS も広がりもそうですし、検察 OB の広がりももそうだとすることで、総理官邸はですね、週末に内閣を支持しないという情報を 10 ポイントも増えたという情報もなんか得ておまして、そういう事もあって今後そのコロナ対策で野党とは協力しなくちゃならない面もありますから、最終的には安倍総理が今回は見送りと決断したという経緯ですね。」

小川彩佳「ただ今国会での断念ということになりますから、この先、秋の臨時国会でもまたこの審議が行われるということになるのでしょうか。」

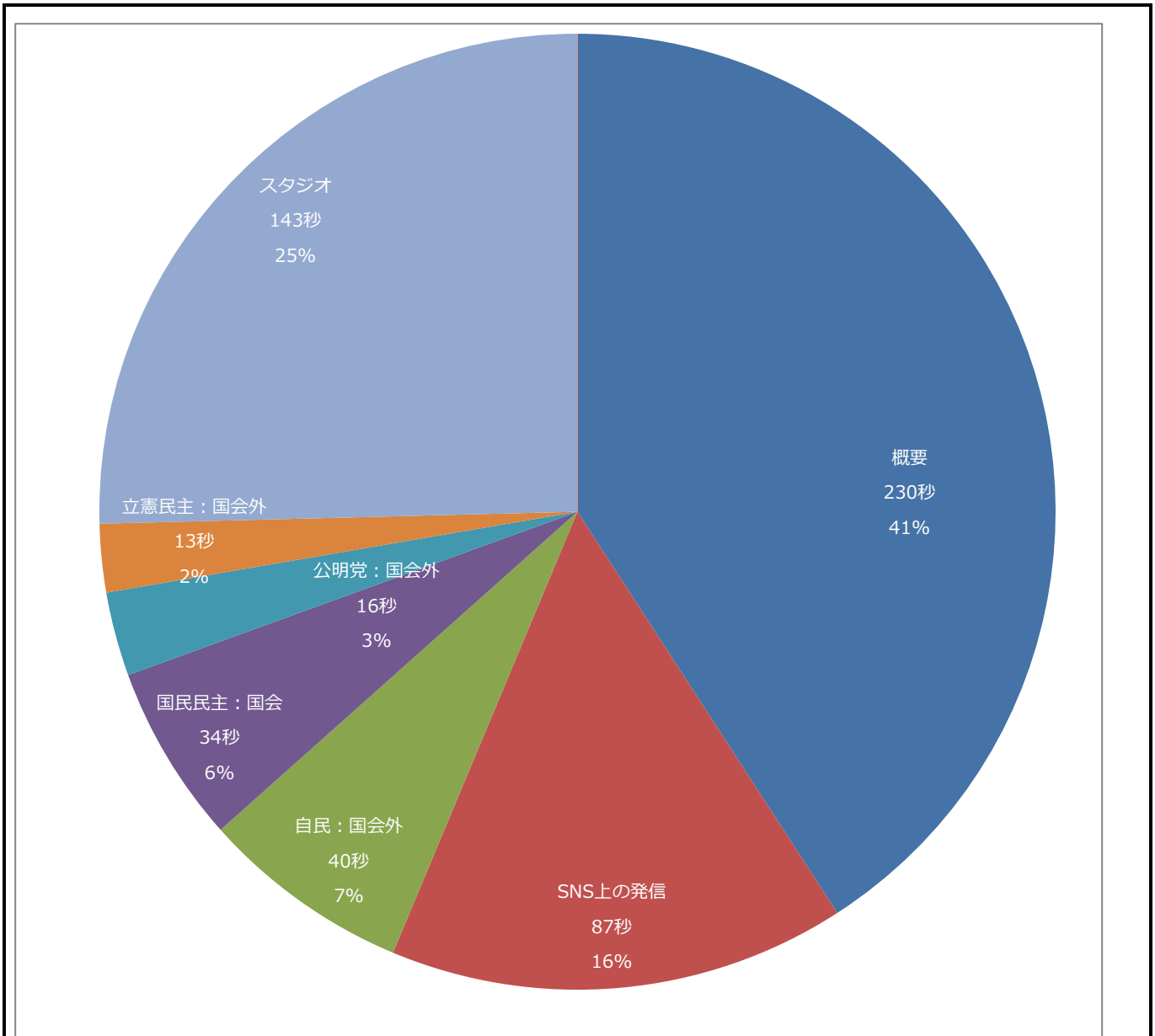
星浩「まあ秋の臨時国会か来年の通常国会ということ何でしょうけれど、今回と同じようなパターンで出してきたらですね、また反対が強まるというだけだと思いますよね。」

小川彩佳「繰り返されますよね。」

星浩「はい。今日安倍総理、国民の理解なしには進められないと言っているんですけども、国民の理解は公務員の定年自体には理解があるんですね。理解がないのはその検察官について特例で定年を延長しようという条項だけでして、そこを分離しない限りはですね、また反対は続くということだと思いますし、まあ今回ですね、やはりその反対の声がこれだけ広がったのは安倍政権の中ですね、その法の支配とか検察の独立とか民主主義の根幹に対する理解が欠けているということに対するみんな警戒が強まったということだと思いますね。それから私、一つその検察の方々にも言っておきたいことがあるのですが、例えばその黒川検事長は検察庁法に書いていない規定によって定年延長を認めた、認められたわけですよね。それをまあ本人も受け入れたということですよ、それから稲田検事総長も検察のトップとして、その黒川さんの定年延長をあるいみ容認したわけで、この二人の責任も私は非常に思いと思うんですね。検察は独立ということを非常に大事にするのであれば、この二人もどっかの段階で責任をとって辞任をして次の方に道を譲るべきだと思いますね。」 "

小川彩佳「これ、矜持が問われている、そしてこれで終わりではないということになりますね。」

このトピックに当てられた時間は 563 秒で、時間配分及び比率は以下の通りであった。



放送法の観点からは特に問題は見られなかった。

・コロナ影響と GDP：結論→特に問題なし

コロナ影響と GDP について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"西村康稔（経済再生相）「当面、経済は相当程度落ち込むことが想定をされます。」

ナレ「今年 1 月から 3 月までの GDP、国内総生産が年率換算でマイナス 3.4%となりました。外出自粛や休業用瀬の影響が出る、4 月から 6 月期はリーマン・ショック機を超えて戦後最悪のマイナス 20%以上となる予測も出ています。」"

このトピックに当てられた時間は 31 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・宇宙作戦隊が自衛隊に発足：結論→特に問題なし

ナレーションによって「自衛隊初となる宇宙作戦隊が 20 人体制で航空自衛隊に新設されました。宇宙ゴミや人工衛星などの監視を主な任務とします、防衛相はすでに宇宙の監視を行っているアメリカ軍などと連携し、将来的には人数を増やすなど体制を強化する方針です。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 31 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・WHO の年次総会：結論→特に問題なし

山本キャスターの「新型コロナウイルス対策が商店となる WHO 世界保健機関の年次総会が始まり、習近平国家主席は演説で透明性をもってウィルスの情報提供に努めてきたと強調しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

習近平（中国国家主席）「中国は WHO と関連国に対し、常に透明性、責任感のある態度で、疫病の情報を迅速に提供しました。」

ナレ「習主席は総会冒頭のスピーチで情報公開に問題はないとし、中郷の初動対応などを批判するアメリカを牽制しました。また、今後 2 年間で 20 億ドル、日本円にしておよそ 2100 億円を拠出すると表明し、発展途上国などを支援する姿勢を国際社会にアピールしました。一方 WHO のテドロス事務局長も初動対応についてできるだけ早い時期に WHO として独立した第三者からの調査を受け入れる用意があると表明しました。更に焦点の一つだった台湾のオブザーバー参加は今回は議案として扱われないことが決まりました。総会が 2 日間のオンライン会議であるため、次回の総会に持ち越す形となっています。」

このトピックに当てられた時間は 85 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

- ・検察庁法改正案

スタジオで星キャスターが「はい。今日安倍総理、国民の理解なしには進められないと言っているんですけども、国民の理解は公務員の定年自体には理解があるんですね。理解がないのはその検察官について特例で定年を延長しようという条項だけでして、そこを分離しない限りはですね、また反対は続くということだと思いますし、まあ今回ですね、やはりその反対の声がこれだけ広がったのは安倍政権の中にですね、その法の支配とか検察の独立とか民主主義の根幹に対する理解が欠けているということに対するみんな警戒が強まったということだと思いますね。それから私、一つその検察の方々にも言っておきたいことがあるのですが、例えばその黒川検事長は検察庁法に書いていない規定によって定年延長を認めた、認められたわけですよね。それをまあ本人も受け入れたということですよね、それから稲田検事総長も検察のトップとして、その黒川さんの定年延長をあるいみ容認したわけで、この二人の責任も私は非常に重いと思うんですね。検察は独立ということを非常に大事にするのであれば、この二人もどっかの段階で責任をとって辞任をして次の方に道を譲るべきだと思いますね。」と

コメントしていた。

しかし「国民の理解は公務員の定年自体には理解があるんですね」というのは果たして本当なのだろうか、検証者個人の感覚に過ぎないが、公務員の定年延長自体に国民の理解がある、というのは非常に疑わしいような気がする。

また、「反対の声がこれだけ広がったのは安倍政権の中にですね、その法の支配とか検察の独立とか民主主義の根幹に対する理解が欠けているということに対するみんな警戒が強まった」と星キャスターはコメントしているが、連日 NEWS23 でも取り上げられているネットの声などを見るに、議院内閣制を取る日本において厳格な三権分立というのが有り得ないということや、検察が政治的なアクターとして行動し、またその時々政権の意向を勘案しながら政治的に振る舞ってきた近代日本政治史および検察庁の歴史に対してあまりに無理解としか思えないような声が多く、検証者としてはむしろ、そうした声を無批判に取り上げるメディアに対しても警戒心を覚えてしまった。

加えて、星キャスターのコメントの「稲田検事総長も検察のトップとして、その黒川さんの定年延長をあるいみ容認したわけで、この二人の責任も私は非常に重いと思うんですね。検察は独立ということを非常に大事にするのであれば、この二人もどっかの段階で責任をとって辞任をして次の方に道を譲るべきだと思いますね。」という部分であるが、そもそも今回の問題についても検事総長に欠員が出た時点の現職の東京高検検事長から検事総長に就任するという検察庁の慣例に原因があることを踏まえると、稲田検事総長が責任をとって辞任するのが「いつ」になるのかで後任の検事総長が全く変わってくるわけなのだから、星キャスターの「どっかの段階で責任をとって辞任をして次の方に道を譲るべきだと思います」というのは「どっかの段階」を明示するにせよ市内にせよあまりにも不用意な発言ではないだろうか。

- ・宇宙作戦隊が自衛隊に発足

自衛隊の行動領域が広がるという話であるが、思ったよりも扱いが小さくて驚いた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年5月19日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 宮地勇人（東海大学附属病院、臨床検査科科长）		
検証テーマ：検察庁法改正案、河井案里議員の秘書の訴訟、WHO 年次総会		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・学校再開 ・関西は「緊急事態宣言」解除が有力・ ・コロナ時代の働き方 ・アメリカの企業が感染予防する「抗体」確認 ・医師グループが PCR「全員検査」を提言 ・検察庁法改正案 ・河井案里議員の秘書の訴訟 ・アルコール配合率の虚偽記載を行った韓国からハンドジェルを輸入販売した会社に消費者庁が措置命令 ・スポーツ報道 ・WHO 年次総会 ・天気予報 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・検察庁法改正案：結論→特に問題なし 小川キャスターの「検察庁法改正案を巡る攻防は今日も続いています。政府与党は今の国会での成立は断念したものの改めて秋の臨時国会での成立を目指す考えです。その政府側の説明、ちょっと良く聞いてみて下さい。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。 <p>杉尾秀哉（立憲民主党参院議員）「これは継続審議、先送りじゃだめで廃案にすべきだと思いますけど、どうですか。」</p> <p>ナレ「検察幹部の定年を内閣の判断で延長できる特例を盛り込んだ検察庁法改正案、野党側は特例規定を除外すべきだと迫りますが。」</p> <p>岡田直樹（官房副長官）「必要かつ重要な法案であると、このように認識しておりますので。」</p> <p>ナレ「法案を所管する法務大臣も今朝。」</p> <p>森まさこ「今後も引き続き国民の皆様に真摯かつ丁寧にご説明をしまいたいと考えております。」</p> <p>ナレ「引き続き成立を目指す姿勢を崩していません。しかし、野党は。」</p> <p>奥野総一郎（国民民主党衆院議員）「検察の人事に政権が手を突っ込む、僕は三権分立の死だと思っんですよ。」</p> <p>ナレ「内閣が検察官の人事に介入する余地が出てくるため、捜査にも内閣が影響を与えるのではないかと、つまり、三権分立を脅かす懸念が指摘されているのです。それでも、政府が法改正に問題がないと主張する訳とは。」</p> <p>森まさこ「検察は起訴券を独占しております、そのため、強大な権力があり、そこに民主的統制を及ぼすため行政権が人事権をもっているわけでございます。」</p> <p>ナレ「検察の暴走を防ぐため、国民に代わって内閣が人事権を握るのが当然との立場です。実際、検察官は行政</p>		

組織に位置付けられているため現行の検察庁法では検事総長など幹部の任命については内閣が行うことを規定しています。今回問題となっている定年延長の特例についても。」

武田良太（国家公務員制度担当）「勤務延長や特例の判断につきましては、もともとある任命権者の人事権行使の延長の範囲内に過ぎないわけであります。」

"ナレ「ただ一方で、検察は時の総理大臣をも逮捕、起訴できるなど起訴権を独占、事実上の司法の一角を担う存在でもあります。そこで検察の独立を守るため、内閣の人事権に関しては長年の慣例がありました。元検察トップ松尾元検事総長らは先週提出した法改正に反対する意見書の中でこう指摘します。」

意見書「政界と検察との両者間には検察官に政治は介入しないという確立した慣例があり、きちんと守られてきた。これは検察を政治の影響から切り離すための知恵。」

ナレ「検察が決めた人事については内閣が口を挟まず、事実上追認することで政治介入を阻止してきたのです、これについては安倍総理も。」

安倍総理（「言論テレビ」15日）「検察庁の人事については検察のトップも含めたその創意でですね、こういう人事でいくということをもってこられてそれはそのままだいたい、我々は承認をしていると。」

ナレ「そして、もう一つの決め事は定年退職の規定です、定年退職の時期については検事総長 65 歳、検察官は 63 歳と検察庁法により明確に規定され、ここでも政治が介入する余地をなくしているのです。」

藤野保史（共産党衆院議員）「今回の法案で、内閣の介入の余地を出口の段階で新たに作り出す、このことは検察全体を歪め司法の独立ひいては三権分立これを犯すものだ。」

"ナレ「元東京地検特捜部トップの五十嵐氏は今回の改正案の危険性をこう指摘します。」

五十嵐紀男（元東京地検特捜部長）「内閣の一員であることはもちろん間違いないんですよ。起訴・不起訴を独占していますしね、これがきちんと機能しないと裁判も有名無実になっちゃうんですね、司法制度のやっぱり根幹に関わってくる問題なんですよ、検察の事情に詳しいとは思えない行政がね、法律を作って抑えようとするのはそれは僕は無理だしやっちはいけないと思う、こういう制度はね、絶対許すべきじゃないと。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。。

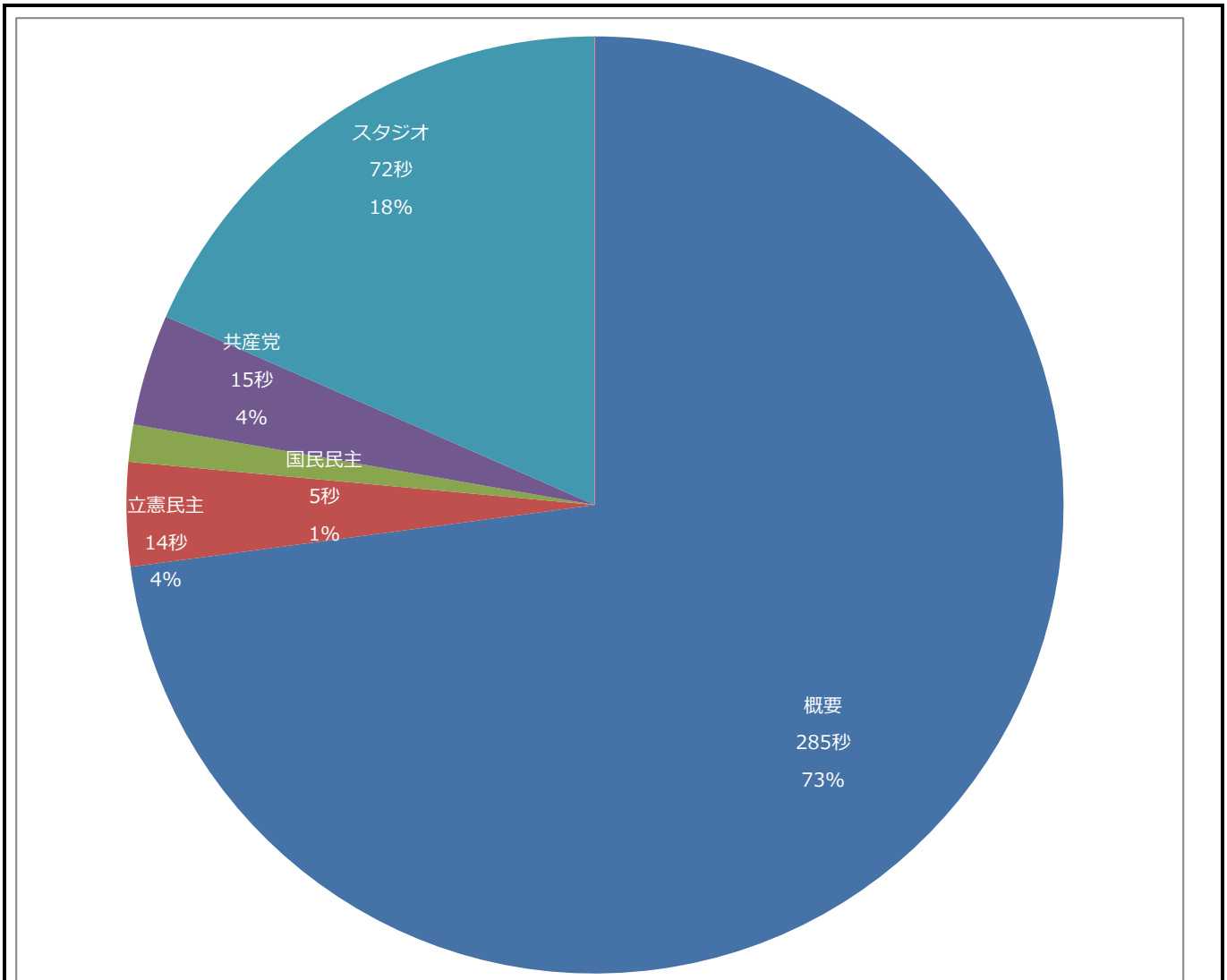
"小川彩佳「絶対許すべきではないと五十嵐元特捜部長、かなり厳しい口調で星さん、この法案の問題点指摘されていましたね。」

星浩「そうですね、この法案についてこれまでもね、定年延長ということによって、政権に都合のいい検事と都合の悪い検事を作る恐れがあると指摘したんですが、実はもう一つですね、その本質的な問題があるんですね、なにかと言いますとね、法律を作るとき我々は立法事実というのをよく耳にするんですね。つまり簡単にいうとその法律が必要な理由ということなんですけれども、今回五十嵐さんと同じように特捜部長の経験者たちが意見書を出したんですが、その中によく読みますと幹部検察官の定年延長の具体的な必要性が顕在化した例は一度もない、と法律家らしい難しい言い回しになっているんですけれども、要するに検事の人たちは定年延長求めていますよ、必要ありませんよ、とっているんですね。ですから立法事実がないわけです。」

小川彩佳「定年延長が必要だった事例がこれまで一度もないということですね。」

星浩「ないということなんです。立法事実がないという以上ですね、この定年延長の法案というのは廃案にするのが妥当という結論になると思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 391 秒で時間配分は以下の通りであった。



放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・河井案里議員の秘書の訴訟：結論→特に問題なし

河井案里議員の秘書の訴訟について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「公職選挙法違反の罪に問われている案里氏の公設秘書立道浩被告。起訴状によりますと立道被告は案里氏の夫、克行前法相の政策秘書、高谷真介被告らと共謀し、去年の参院選でウグイス嬢 14 人に対し、法定上限を超える報酬を含む併せて 204 万円を支払ったとされてます。今日の裁判で立道被告は。」

立道浩被告「法定上限を超える報酬を支払ったのは事実ですし、関与する行為をしたことは認めます。ただし、共犯者と共謀したことになるのかや、共同正犯と評価されるべきかは分かりません。報酬金額は常識的な金額と聞いていました、」

ナレ「また、弁護側は立道被告は金額決定には一切関与していない、幫助犯に過ぎない、と主張しました。立道被告の禁錮以上の刑が確定し、その後の訴訟で連座が認められれば、案里氏は失職することになります。」 "

このトピックに当てられた時間は 86 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・ 検察庁法改正案

星キャスターが「そうですね、この法案についてこれまでもね、定年延長ということによって、政権に都合のいい検事と都合の悪い検事を作る恐れがあると指摘したんですが、実はもう一つですね、その本質的な問題があるんですね、なにかと言いますとね、法律を作るとき我々は立法事実というのをよく耳にするんですね。つまり簡単にいうとその法律が必要な理由ということなんですけれども、今回五十嵐さんと同じように特捜部長の経験者たちが意見書を出したんですが、その中によく読みますと幹部検察官の定年延長の具体的な必要性が顕在化した例は一度もない、と法律家らしい難しい言い回しになっているんですけれども、要するに検事の人たちは定年延長求めていますよ、必要ありませんよ、とっているんですね。ですから立法事実がないわけです。」とコメントしていたように、たしかに東京高検検事長として職務を行うために定年延長をする理由はないのかもしれない。

しかし、そもそも検察の長い歴史において戦後はほぼ全員の検事総長が現職の東京高検検事長からの就任している。この慣習の存在から、ある種、検事総長に誰になるかは検察庁内では半ば出来レースになっていると言えるだろう。そうした場合に検事総長が事案への対処のために退職の時期をずらしたことが原因で、次期総長になるはずの東京高検検事長が退官するということを防ぎ検察庁の伝統及び慣習を守るためには、必要な法律なのではないだろうか。

もちろん、検察庁の慣習を無視して検察庁法の条文のみに拘束された検事総長人事で何の問題もないというのであれば、立法事実はないという話になるのだろうが。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年5月20日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：10万円給付金、黒川検事長に賭け麻雀疑惑、緊急事態宣言解除後の観光		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西三府県で緊急事態宣言があす解除へ ・東京など4府県と北海道は解除見送り ・コロナ影響 ・10万円給付金 ・甲子園の中止が決定 ・訪問診療続ける下町の医師 ・黒川検事長に賭け麻雀疑惑 ・9月入学 ・ゴーン被告の逃亡を助けた男らを逮捕 ・スポーツ報道 ・緊急事態宣言解除後の観光 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10万円給付金：結論→特に問題なし <p>10万円給付金について以下に朱記したように取り上げられていた。</p> <p>ナレ「一方、国から一人10万円が支給される給付金。各自治体で給付が始まっています。東京江戸川区に済む唐崎健嗣さん。」</p> <p>唐崎健嗣さん「家内と含めて20万入っていますね。」</p> <p>ナレ「唐崎さんは移動式のプラネタリウムを使って学校の体育館などで上映を行っています。しかし、休校の影響で仕事は激減。」</p> <p>唐崎健嗣「会社の仕事がない状況でこの10万円というのはとても助かりますね。」</p> <p>ナレ「唐崎さんが給付金を申請したのは今月1日のこと、その後12日に振り込まれ順調にいったケースですが、全国的にはトラブルが相次いでいます。そもそも今回の給付金はマイナンバーカードを使ったオンライン申請と自治体から送られてきた申請書に記入して郵送する2つの方法があります。オンライン申請について安倍総理は。」</p> <p>安倍総理「これはあのマイナンバーを活用していただければ早くいくわけでありますが。」</p> <p>ナレ「ところがそうはいかないようで。」</p> <p>佐々木久美子（報告）「こちらの港区役所では職員の方が10万円給付の申請後の確認作業を行っています。」</p> <p>ナレ「オンライン申請で相次いでいるのが記入ミスです。」</p> <p>加藤豊（港区特別定額給付金担当課長）「住民票のデータとは違う家族構成で申請してしまうケースなどが見受</p>		

けられます。」

ナレ「その他にも住所の間違い、振り込み先の口座番号が一桁足りない、などの不備が多く、職員が一件一件手作業で確認していると言います。」

加藤豊「これから申請していただく方については可能であれば郵送の申請書をお待ちいただいたほうがスムーズなのかなというふうに考えております。」

ナレ「確認作業の煩雑さからオンライン申請を打ち切る自治体も相次いでいます。さらに、マイナンバーカードを巡ってはこんな事態も。」

石田夕希（報告）「こちら入り口には列ができています。マイナンバーカードの手続き待ちは 100 人を超えています。」

ナレ「急遽カードの発行手続きをする人や暗証番号を忘れた人などで窓口が混雑、三密が懸念される状況も生まれました。郵送による申請でも思わぬ落とし穴が。この防衛大臣は Twitter でこう呼びかけています。」

河野太郎（Twitter）「給付金の申請書の「希望しない」に勘違いでチェックをつける人が多いようです。勘違いないように気をつけましょう。」

ナレ「これは総務相が作った申請書の参考例、各自治体はこれをもとに申請書を作ります。氏名などの記入欄の横にあるのは給付金の支給を希望しない人がチェックを付ける欄、この欄に勘違いでチェックを付ける人が相次いでいるのです、なぜこんな欄を作ったのでしょうか。」

総務省担当者「受給を希望しない人もいます。辞退の意思を確認するためのものです。」

ナレ「チェック欄を見た街の人は。」 "

"街の声 A「給付金としてもらえるものという前提で書いているので、そこをチェックの欄は必要ないと思います。」

街の声 B「つけちゃう人もいそう、なんかよく読まない人は。」

ナレ「自治体によっては希望する、不要とわかりやすく表記を変えたり、そもそもチェック欄を作らないなど工夫しているところもあります。」

総務省・内閣府の会見「ここで間違えられた場合、どうしても申請期限を過ぎてしまうことがあります。」

ナレ「郵送による申請書の受付期限は三ヶ月以内、勘違いに気付かず期限を過ぎて、貰えないという事態も想定されるので、注意が必要です。」 "

VTR を受けて小川キャスターが「スピーディに届けるはずの 10 万円だったのですが郵送でもオンラインでも混乱が起きている、と。まあ現場の方々は一生涯懸命やっていたらっしゃると思うんですが。」とコメントをしていた。このトピックに当てられた時間は 314 秒で放送法上は、特に問題は見られなかった。

・黒川検事長に賭け麻雀疑惑：

小川キャスターの「定年延長どころか、辞任を求める声が上がっています、検察官部の定年延長を巡って注目された東京高検の黒川検事長ですが、緊急事態宣言のさなか、賭け麻雀をしていたという疑惑が週刊誌によって報道されました。」戸のコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"中谷一馬（立憲民主党衆院議員）「緊急事態宣言下の 5 月 11 日にも新聞記者らと 3 人と卓を囲んでいたことで

す、まあ黒川検事長の記事なんですけれども、この内容は事実でしょうか。」

菅義偉（官房長官）「報道については承知をしておりますが、事実関係については詳細承知しておりませんので発言控えさせていただきます。」 "

ナレ「今の国会での成立が見送られた検察庁法の改正案、その発端となったのが今年1月に閣議決定された検察ナンバー2の黒川東京高検検事長の定年延長でした。文春オンラインによると黒川氏は緊急事態宣言下の今月都内で産経新聞の記者2人と朝日新聞の元記者1人と賭け麻雀をした疑いが持たられています。」

"中谷一馬「まあこうした不祥事が報じられ、国民世論の大きな声が上がっている現下においてもこの決定は今でも正しかったとお考えですか。」

菅義偉「そのことについては、誤りではなかったというふうに思っております。」 "

"ナレ「黒川氏の定年延長を閣議決定したことについて、改めて誤りではなかったと強調した菅官房長官、今日午後の会見でも。」

記者「今回のこの報道画ですね、この検察庁法改正案のまあ見送りに影響したという見方もあるのですがそれに関してはいかがですか。」

菅義偉「全く違います。」

ナレ「しかし、報道が事実であれば黒川氏は刑法における賭博罪などに抵触する恐れがあることから与野党双方から辞任を求める声が上がりました。」 "

石田祝稔（公明党政調会長）「中枢の幹部がですね、そう言われているようなことであるとね、これは職務を続けられる、そういう話ではないだろうと私は思います。」

小池晃（共産党書記局長）「即時、これは罷免するべき事案ではないかと思う。これはもう任命責任どころか法解釈を変えて閣議決定までして定年延長をしたわけですから、これはもう安倍政権の責任は二重三重に重大であると言わざるを得ない。」

"ナレ「この記事について産経新聞社は取材に関することは従来からお答えしていない。ただし、不適切な行為があった場合には取材源秘匿の原則を守りつつ適切に対処していく、などと回答、朝日新聞社は50代の男性社員が黒川氏と麻雀をしていた事実を認めた上で、」

朝日新聞社「不要不急の外出を控えるよう呼びかけられている状況下であり、極めて不適切な行為でお詫びいたします。」

ナレ「ただ、賭け麻雀だったかどうかは調査中だとしています。また、東京高検は記事内容を確認できていないのでお答えしかねる、としています。一方、kの検察官を含む国家公務員の定年を延長する国家公務員法の改正案に潰えてや昨日、自民党の幹部からこんな発言が。」 "

世耕弘成（自民党参院幹事長）「これだけ経済が苦しくなっている、雇用環境が厳しくなっている中でですね、国家公務員や地方公務員だけ、給料も下がらないまま5年も定年延長されていいのか。」

ナレ「今になって検察官だけではなく、公務員の定年延長そのものに疑問を呈したこの発言に野党からは。」

安住淳（立憲民主党国対委員長）「自分たちで出しておいて、今になって継続となったらその法案そのものが問題だって、65歳の定年がおかしいなんて自民党の責任者がそんな事を言いだしたら、与党やめたほうがいいですよ。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「この人でなければだめなんだということで横車を押すような形で定年延長された黒川検事長ですけれども、もし賭け麻雀で辞任ということになれば、星さんこれまでの騒動は一体何だったんだろうということになりますよね。」

星浩「そうですね、黒川さんは複雑重大な事件公判を担当するために定年を延長した、と、異例の定年延長をしたわけですよね、それがじつはかけ麻雀をしたということですから、この定年延長の理由がいかにかいい加減だったかということですよね。まあ黒川さんの辞任はもう避けられない情勢になっていると思いますが、これ私、個人の問題にとどまらないと思いますよね、黒川さんの定年延長を法律の解釈を強引に変えてでもやった内閣、そして安倍総理の責任は非常に重いと思いますよね。」

小川彩佳「はい、そして賭け麻雀をともにしていたのが新聞記者たちだった、と。これ疑惑ですけどももし本当なら恥ずべきことだと思うんですが、この記者たちのただずまいというのは先輩記者からどうぞ覧になりますか。」

星浩「私も新聞記者 37 年やりましてね、一つはっきりしているのは取材対象に肉薄するというのは絶対に大事なんですね。ただし今回のケースは明らかにその矩をこえているということだと思います、それからその新聞記者は取材をしたら、それを絶対に記事にして公表しないとイケない。どうも彼らに公表する意図、動きはなかったようですし、これは手段と目的が逆転してしまっていると思いますよね。やっぱり非常に大いに反省して出直してもらいたいと思いますね。」 "

また番組のクロージングでは以下に朱記したようなやり取りがなされた。

"小川彩佳「さて、黒川検事長ですが、明日にも進退判断かという情報も星さん入ってきていますね。」

星浩「はい。ええ、政府関係者によりますと、明日ですね、黒川さん自身が説明をするか、それができなければ辞任せざるをえないだろうということでしたので、明日、大きな山場ということにということとは間違いないと思いますね。」

小川彩佳「明日の番組でお伝えすることになるかと思います。」 "

このトピックに当てられた時間は 387 秒で、時間配分及び比率は以下の通りであった。

・緊急事態宣言解除後の観光：結論→特に問題なし

山本キャスターの「西村経済再生担当大臣は緊急事態宣言が全国で解除された場合でも一定の期間は他の県への移動を伴う観光について自粛が必要になるとの考えを示しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

西村康稔（経済再生相）「観光について、今、解除されたからと言って、さあみんなで日本中行き来しようということにはならないんだと思います。緊急事態宣言を解除するにはしっかりとその後の道筋はお示ししていきたいとは考えておりますけれど。」

ナレ「西村大臣は仮に、全都道府県で宣言が解除されても直ちに移動を自由にすることはできない、と述べ、観光については一定機関の自粛が必要になるとの考えを示しました。また、宣言の解除に伴って、経済活動を段階的に引き上げてくための政府の基本的な考え方を示すことを明らかにしました。政府は収束後を想定して緊急経済対策に旅行や飲食の喚起策、GoTo キャンペーンのコストを盛り込んでいますが、西村大臣は先行的に宣言が解

NEWS23 週刊報告 詳細版

除された地方部の観光の進行を行うなど段階を踏んで考えていきたいと説明しました。" "

このトピックに当てられた時間は 86 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年5月21日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：黒川検事長が辞任、桜を見る会で刑事告発、中国全人代 IOC バッハ会長の発言、外国特派員協会が謝罪		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒川検事長が辞任 ・ 桜を見る会で刑事告発 ・ 緊急事態宣言解除が解除される関西と継続される首都圏四都県と北海道 ・ 中国全人代 ・ ニューヨークで低所得者ほど感染することが判明 ・ インドで大型サイクロン ・ IOC バッハ会長の発言 ・ 外国特派員協会が謝罪 ・ ゴーン被告を助けた特殊部隊の男 ・ H2B ロケットの打ち上げ成功 ・ ES 細胞で初の難病治療 ・ 節税指南の税理士が脱税の疑いで東京国税局に告発される ・ スポーツ報道 ・ 首都圏と北海道の緊急事態宣言は 25 日にも解除可否の判断 ・ 天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <p>・ 黒川検事長が辞任：結論→特に問題なし</p> <p>小川キャスターの「こんばんは、NEWS23 です、この人の定年を延長しなければ対応できないと政府が主張してきた重大事件はどうなってしまうのか、そんな疑問も浮かんできます。黒川検事長の問題ですが、一気に辞職へと動き出しました。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられた。</p> <p>"ナレ「午後 5 時前、報道陣に囲まれながら自宅を出た東京高検の黒川弘務検事長、向かった先は法務省でした、その後安倍総理と面会した森法務大臣は。」</p> <p>森まさこ（法相）「事実関係が認められたことから、黒川検事長に対し、監督上の処分として訓告としました。また、さきほど黒川検事長から辞職願、辞表が提出されましたので、明日、5 月 22 日金曜日の閣議で辞職の承認を頂く予定です。」</p> <p>ナレ「安倍総理は。」</p> <p>安倍総理「総理大臣として当然、責任があると考えております。ご批判は真摯に受け止めたいと思っています。」</p> <p>ナレ「黒川検事長は今日発売の週刊文春で緊急事態宣言が出されていた今月 1 日と 13 日、産経新聞の記者の自宅で記者らと賭け麻雀をしていたと報じられました。黒川氏は法務省の調査に対し、賭け麻雀を行ったことを認</p>		

めたということです。そして、今夜、コメントを発表しました。」

黒川氏のコメント「緊急事態宣言下における私の行動は緊張感に欠け軽率にすぎるものであり、猛省しています。このまま検事長の職にとどまることは相当でない判断し、辞職を願い出たものです。」 "

ナレ「また、産経新聞社は記者二人が数年前からかけ麻雀をしていたと話した上で、賭け麻雀は許されることではなく極めて不適切な行為で深くお詫びする、とコメントしました。さらに、朝日新聞の調査によりますと、四人での賭け麻雀はこの2回だけではありませんでした。4人はこの3年間に月2,3回程度の頻度で集まっていて緊急事態宣言が出された直後の先月にも2回、産経新聞の記者の自宅で麻雀卓を囲んでいたということです。一回の勝負は一人あたり数千円から二万円くらいだったということです、賭け麻雀の報道が出るのがわかったあと、ある検察幹部は黒川氏からこう言われたと言います。『ご迷惑をおかけして申し訳ない』。ただ、今回、黒川氏にくだされた訓告は国家公務員法上の懲戒処分ではなく、あくまで指導監督の措置です。一方、人事院のホームページ上で懲戒処分の指針を見ると、賭博をした国家公務員は懲戒処分に当たる減給、または戒告。常習として賭博をした職員は定食とする、と記載されています。そもそも安倍政権は黒川氏について閣議決定の上、法解釈を変更してまで特例で定年を延長しています。今日、その決定について、改めて問われた森法務大臣は。」

"森まさこ「適切なプロセスで行ったと認識しております。」

ナレ「一方、野党からは安倍総理の任命責任を問う声が相次いでいます。」 "

志位和夫「辞任で終わりになりません。違憲違法の閣議決定を行った安倍政権の責任を追及します。そして事実関係の究明をやっていきます。」

枝野幸男「東京高検検事長は空席になるんですか、ここでどなたか代わりがつかれるのであれば、そもそも『余人をもって代えがたし』という判断は何だったんですか。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「ここで一旦これまでの経緯を整理してみます。こちら、黒川検事長は2月に定年を迎える予定でした。それが一週間前に閣議決定が行われまして、特例でこの定年が延長されます、ただ、これ従来の法律解釈では検察官の定年は延長できないため、これ違法なんじゃないかという疑いを野党などから指摘されます。これを受けて安倍総理は法律の解釈を変更したのです、とこのように表明したんですね。ここまでは黒川氏をある種特別扱いをして検事長にとどませたというこうした経緯があるんですけども、星さん、これまであの閣僚の不祥事が起きるたびに任命責任は私にあります、というふうに繰り返してきた安倍総理ですから、この経緯を考えると、これまでとまた一段こう重いといいますか、特別な任命責任を問われるんじゃないかなというふうに感じるんですが。」

星浩「そうですね、はい。あの、歴代の検察の歴史の中で定年延長をされたのは実は黒川さん一人しかいないんですね。」

小川彩佳「異例の措置ですね。」

星浩「そうすると黒川さんを定年延長させた法律の解釈を代えた理由、一体何なのか、これは安倍さんなかなか説明してくれないんですね、それからなんで黒川さんを選んだのか、これについても説明してくれない。ということで、なかなかわからないわけで、これ説明きちんとできないのであればですね、これ定年延長したという閣議決定を見直す、ないしは破棄するしかないということになると思いますね。」 "

"小川彩佳「うーん、その、なんで黒川氏を定年延長しなければならないのか、そのあたりの理由として政府がこ

れまでこのように説明してきました。重大かつ複雑困難な事件に対応するためだと。こうした説明をしてきたわけですが、ここでまあ疑問が浮かび上がってくるのですが、もし、黒川検事長が辞職ということになりますと、この重大な事件に対応する人物がいなくなってしまうということになりますよね。」

星浩「そうですね、まあ安倍政権が考えそうなロジックからすると、いやもうひとり実は重大かつ複雑困難な事件に対応できる人物が見つかりましたので、公認の検事長に据えました、とおそらくいうんでしょうね。でやっぱり問題なのは曖昧な理由で法解釈を歪めて、人事権を行使した、という一連の経過だと思うんですね。安倍政権は発足以来、やはり霞ヶ関への人事権を行使する、600人くらいの幹部人事を全部官邸が仕切るんだというやりかたで、いろんなその霞ヶ関に睨みを効かせてきたんですね。今回やはりこのそういう安倍政権の手法がですね、破綻をしているんじゃないかという現象が現れたと私は見ておりまして、やはりこれは政権の足元を大きく揺るがす事態になっていると思いますね。」

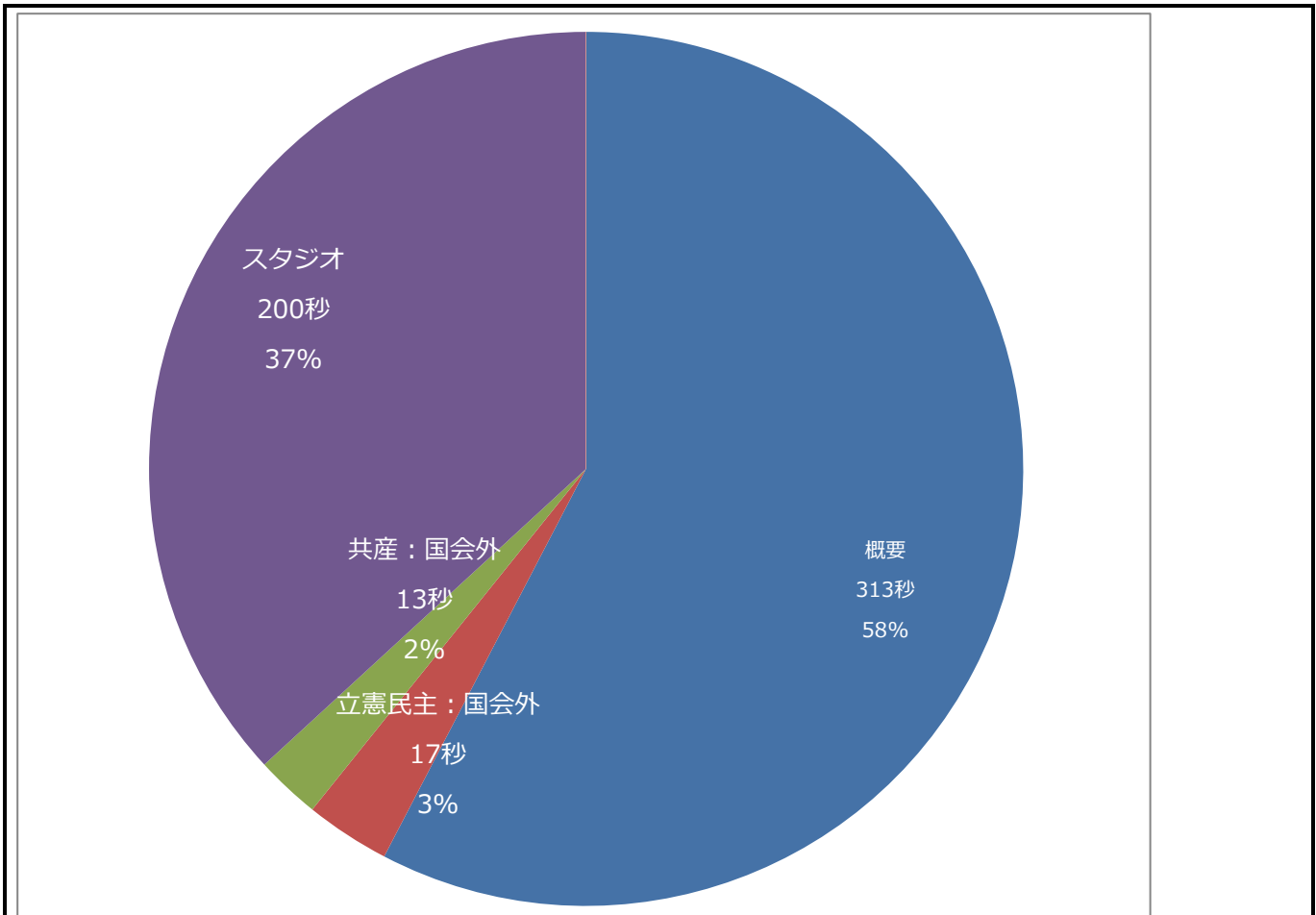
また番組のクロージングでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「星さん、黒川検事長、訓告で辞職ということになりました。」

星浩「そうですね、黒川さんは一年前の記者会見でね、自分はその検事の魂を失ったことはないと言っているんですね、本当にそうなのか、やっぱり最後にその職を辞するにあたってこの間の経緯、心境について本当は記者会見で語ってもらいたいですね。」

小川彩佳「そうですね。」

このトピックに当てられた時間は 543 秒で時間配分は以下の通りであった。



放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・桜を見る会で刑事告発：結論→特に問題なし

小川キャスターの「うーん、その政権の足元を大きく揺るがすという点では続いてのニュースもつながってくるんですが、疑惑追及のさなかに新型コロナの感染拡大が起きまして、国会でも一時休戦ともっているこちらの問題です。」とのコメント、山本キャスターの「桜を見る会の前夜祭を巡って公職選挙法違反などの疑いで安倍総理を刑事告発、最高裁の元裁判官をはじめ弁護士、法学者ら、法律の専門家ばかり実に 662 人が告発しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

ナレ「午前 11 時前、東京地検に向かう弁護士たち、携えているのは安倍総理に対する 622 人分の告発状です、毎年 4 月税金を使って行われてきた総理主催の桜を見る会、この会に安倍総理の後援会関係者が多数参加していたことが問題となりました。告発した 622 人は弁護士や法学者ら全員が法律の専門家です。」

"小野寺義象（告発した弁護士）「法の支配、法治主義が非常に危険な状態にさらされている。私達法律家、弁護士はこういうのを黙っていることはできない。」

ナレ「最高裁判所の元裁判官、濱田邦夫さんは。」

濱田邦夫「国民の税金をですね、自分の当選を図るために選挙民の饗応に際限なくあてるというだけではなくて、適用ある法律や規則を無視するというようなことは政治家に許されることではありません。」

ナレ「国会で追求が本格したのはコロナ感染が拡大する前、去年の臨時国会でした。」

田村智子（共産党参院議員）「税金を使った公的行事なんですよ、誰でも参加できるわけではないんですよ、これ説明できなければおかしいですよ。」

ナレ「半年前、共産党田村議員が口火を切った、総理主催の桜を見る会の問題。まず問題となったのは税金を使った公的行事に誰が招待されたかということです。」

安倍総理「各界において功績功労のあった方々などを幅広く招待し、」

ナレ「功績、功労のあった人が招待されるはずでしたが、実際はそれに関係なく安倍事務所が参加申込書を作成し、地元配布していたことが明らかになりました。」

"宮本徹（共産党衆院議員）「安倍事務所だけがですね、各界の功績功労に関係なく幅広く募る、推薦しているわけではないですよ、募集をしているんです。」

安倍総理「あの、私はですね、幅広く募っているという認識でした。募集しているという認識ではなかった。」

宮本徹（共産党衆院議員）「私、もう日本語今まで、48年間使ってまいりましたけれども、募るといのは募集するのと同じですよ。」 "

ナレ「それでは、実際誰が招待されているのか問われると。」

安倍総理「推薦名簿はすでに廃棄しており定かではないということでございます。」

ナレ「安倍事務所が地元の後援会、つまり選挙区の有権者を含む 800 人以上を一度に桜を見る会に招待し、無料で飲食を提供していたことは公職選挙法における買収に当たるのではないかという指摘も。」

"小西洋之（野党会派参院議員）「安倍総理がご自身の地元の有権者を 800 人も招いてこのような飲食を提供するのは、買収剤における供応接待、供応接待罪そのものではございませんか。」

菅義偉（官房長官）「最終的に内閣官房・内閣府において取りまとめを行っているものであり、公選、公職選挙法の買収罪に該当することではない。」 "

"ナレ「最終的な取りまとめは内閣官房で行っているから問題ないとの主張を繰り返します。そして今日、全国 662 人の弁護士らが刑事告発の対象にしたのは桜を見る会の前日に都内のホテルで行われた前夜祭でした。」

小野寺義象「収支不記載という点と寄付行為ということだけなのですが、确实なところをまずやったということです。」

ナレ「告発した弁護士が确实なところと指摘したのが、公職選挙法が禁止する寄付行為です。問題となったのは都内の高級ホテルの大広間を貸し切ったパーティで一人 5000 円という安すぎる参加費です。この価格について安倍総理はホテル側が設定した、と主張していますが。」

米倉洋子（告発した弁護士）「5000 円で豪華なパーティをニューオータニでやることは不可能、講演会がホテルに対して補填をしていればそれはあの寄付に当たる落ちうことは明白だと思います、仮にホテルが値引きをしたとしてもやはり寄付になると、おそれるは明らかではないかということです。」

ナレ「弁護士はこうした疑惑を解明するためにもホテルが発行した明細書の提出が必要だとしますが、これについても安倍総理は。」 "

安倍総理「事務所は受け取ったということを記憶をしていないということでございますが、またホテル側はですね、営業上の秘密であるということもありそれは提出することはできないということでございます。」

"ナレ「そして、弁護士が指摘する 2 つ目の法律違反が。」

米倉洋子「収支報告書に記載しないというのは記載義務違反である、ということ間違いはない。」

ナレ「参加費を集めてホテルに支払ったそのお金の出入りについて後援会の収支報告書に記載しないのは政治資金規制法に違反しているとの指摘。これについて安倍総理は差し引きゼロ円のため記載する必要がないと主張してきました。さらに。」

"安倍総理「夕食会についてもこの主催は後援会でございますが、この契約の主体はですね、いわばそれぞれ個人がですね、個人が支払いを行っており、これはあの、今までもですね。」

ナレ「参加者一人一人がホテル側と契約していると釈明。」

山井和則（「立国社」会派衆院議員）「ありえない答弁しないで下さい。800人の方が一人ひとりがホテルニューオータニと契約するはずがないじゃないですか。」

"ナレ「野党が攻勢を強めると。」

安倍総理「契約というのは私、訂正させていただきます。」

"大串博志（立憲民主党衆院議員）「契約ということではなかったと、何だったんですか、そうすると。」

安倍総理「あのそれは、合意、合意をして。」

ナレ「安倍事務所が費用についてホテル側と取り決めをしたのは契約ではなく合意をしたと答弁を訂正したのです、しかしこんな例えまで。」

安倍総理「焼肉屋で会を、懇親会を開くときにですね、事務所画ですね、5000円、5000円くらいでやってもらえますか、烏龍茶かなにかつけてもらえますか、じゃあつけましょうと先方が言い、それをですね、伝えて、そしてそういう形でやると、これはよくあるのではないかと。」

ナレ「焼肉店での会合も800人規模のホテルでのパーティも同じだという主張。こうした理屈について今日、弁護士は。」

米倉洋子「安倍首相の答弁というのは非常に驚いたわけですが、まあそんなことは通りませんよ、主催者は後援会で、しかしなんですか、契約が。だから契約が個人々人というのは法的には全く成り立ち得ない話だと思いますね。」

小川彩佳「思い出しながらご覧いただいた方も多かったんじゃないかなと思いますが662人全員が最高裁の元裁判官など法律の専門家という今回の告発、その中身を山本さん、改めてお願いします。」

"山本恵里伽「はい、桜を見る会の前夜祭をめぐる刑事告発、容疑は2つあります、一つ目は公職選挙法違反です、2018年に行われた前夜祭では安倍事務所が後援会の会員ら一人あたり5000円の参加費を徴収していました。ですが、前夜祭が行われたホテルの飲食単価というのは最低でも11000円、告発状によりますとかかるとして、その差額分6000円分が選挙区の有権者への寄付行為に当たるのではないかと、ということで、公職選挙法違反が指摘されているんです。2つ目の容疑は政治資金規正法違反です、たとえこの飲食単価が5000円だったとしても参加者800人から徴収したおよそ400万円の収入、その400万円をホテル側に支払ったという支出の記載が政治資金収支報告書になかったということで政治資金規正法違反が指摘されています。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

小川彩佳「この告発の内容、星さんどのようにご覧になりますか。」

"星浩「森友加計サクラとスキャンダル続いてきましたけれどもですね、この問題は実はその前夜祭の問題はストレートに公職選挙法違反になるという点でですねそれ以外の問題とちょっと異なっているんですね、後援会の会員

メンバーをいっぱい呼びすぎてちょっとやりすぎだったなというそういう倫理的な問題とは異質な問題になっているということですね。」

小川彩佳「そしてあの法律のプロ 662 人による告発というのは非常に重みがあることのように感じますが、これ立件はできるのかできないのか、ここはどうなんですか。」

星浩「そうですね、ここは私は 2 つがポイントかなと思っております、一つはですね、その検察がどこまで本気度を示すか、なにせ現職の総理大臣のスキャンダルですからどこまでその食い込むか、切り込んでいくかということなんですね。で、もう一つはやっぱりポイントはホテルの明細書なんですね。ホテルの明細書にはこのパーティでいくらかったかというのを書いていますから一方で安倍さん側は 400 万円集めて払ったと、これに差があるかどうかというのはこれ明細書がでてくれば一目瞭然、それから告発がでるとですね検察は調べなければいけませんので、これ、明細書がでてくるかどうか非常に大きなポイントになってくると思いますね。」

小川彩佳「はあ、これまでホテルの明細書というのは出て来ませんでしたけれども刑事告発があったら出てくるということですか。」

星浩「これは検察の調べの中で出てくるということですね。」

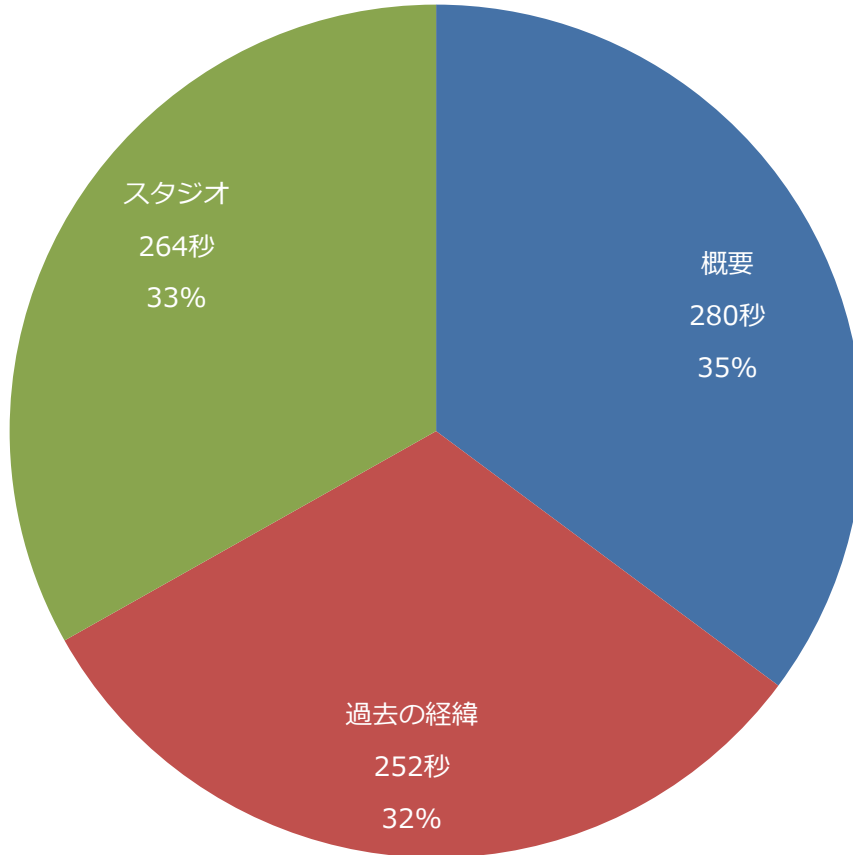
小川彩佳「更にこの桜を見る会を巡っては様々な疑惑も上がっていましたけれども、マルチ商法で破綻したあのジャパンライフの元会長を誰が招待したのか、ここも一つの疑惑ですよ。」

小川彩佳「そうですね、そのジャパンライフの宣伝に使われたわけですが、このジャパンライフの事件はもしかするとこの国会が終わる 6 月の半ば以降に、これは警視庁がこれ立件する動きを見せていますのでこれがどう展開していくか、非常に大きなポイントになってくると思います。誰がこの元会長を招待したんだということになってきますよね。」

小川彩佳「それにしても黒川検事長の問題といい、今後政局に向けて大きく影響してきそうですね。」

星浩「そうですね、黒川さんの問題これで終わらないと思います。その訓告という処分では軽かったんじゃないか 6000 万円の退職金そのまま貰えるんじゃないかというような問題もありますし、更にですね、この後任の問題、この経緯の問題おそらくどんどん追及が続くでしょう。更にですね、安倍総理、安倍政権にとってはですね、河井元法務大臣の疑惑、選挙違反問題ありますよね。こういう問題も抱えていますし、いろんな問題が次々と残ってまして、検察がこの問題にどう対応してくるのか、政権側がどういうふうに向き合ってくるのか、これ私一歩間違えるとですね、政権が行き詰まってくることだってあり得るとい、そういう意味では非常に緊張した局面が暫く続くと思ていいと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 796 秒で、時間配分及び比率は以下の通りであった。



放送法上は特に問題は見られなかったが、この刑事告発を受けて検察がどう動くのかは注視に値すると考える。

・中国全人代：結論→特に問題なし

山本キャスターの「中国で明日、新型コロナの影響で3月から延期されていた全人代、全国人民代表大会が開幕します。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"元日本料理店経営者「経世者から労働者になったのは気持ちの上で一番つらいです。」

ナレ「経済活動の縮小に伴い3月時点の失業者が7000万人との推計も出ている中国、習近平指導部はこれまで、企業の倒産を防ぐための税金免除などを打ち出してきましたが、明日開幕する全人代では国民生活を立て直すためにどのような政策を示せるかが注目されます。」"

このトピックに当てられた時間は43秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・IOCバハ会長の発言：結論→特に問題なし

ナレーションによって「世界全体の新型コロナの患者数が500万人を超える中IOC国際オリンピック委員会のバハ会長が東京オリンピックについて来年の夏までに開催できなければ中止せざるを得ないとの見解を示しました。さらに安倍総理は日本にとって来年の夏が最後の選択肢だと明確に言っていたとも述べています。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は40秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・外国特派員協会が謝罪：結論→特に問題なし

ナレーションによって「外国特派員協会の月刊誌の表紙に東京オリンピックのエンブレムとコロナウィルスのイメージを掛け合わせたデザインが掲載され、大会組織委員会が抗議していた問題、特派員協会側が会見を開き、不快な思いをさせた」と謝罪しました。一方で、協会の会員からは表現の自由の観点から反発する声も上がっています。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は30秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

検証者所感

・黒川検事長が辞任

スタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されていた。

小川彩佳「この経緯を考えると、これまでとまた一段こう重いといいですか、特別な任命責任を問われるんじゃないかなというふうに感じるんですが。」

星浩「そうですね、はい。あの、歴代の検察の歴史の中で定年延長をされたのは実は黒川さん一人しかいないんですね。」

小川彩佳「異例の措置ですね。」

星浩「そうすると黒川さんを定年延長させた法律の解釈を代えた理由、一体何なのか、これは安倍さんなかなか説明してくれないんですね、それからなんで黒川さんを選んだのか、これについても説明してくれない。ということで、なかなかわからないわけで、これ説明きちんとできないのであればですね、これ定年延長したという閣議決定を見直す、ないしは破棄するしかないということになると思いますね。」

星キャスターは「歴代の検察の歴史」というものを持ち出しているが、そういう意味では現職の東京高検検事長以外から検事総長に就任した例というのも殆どなく、メディアも「東京高検検事長の定年延長によって黒川氏に検事総長の道がひらけた」などと、全く法律の解釈とは異なり視聴者に誤解を与えるような報じ方をしていた。定年延長が異例である一方で、現職の東京高検検事長以外からの検事総長の就任もまた異例であり、そうした中で検事総長は自らの退官時期によって選ぶことは検察庁・法務省の総意に反して後任の検事総長を指名することが可能ということでもある。

そうした中で、安倍政権にのみ説明を求めるといって自体が徒労であり、今回の件の真相に迫るのであれば、稲田検事総長へ切り込む以外はないのではなかろうか。

この番組を視聴していて、安倍政権問題に番組が切り込んでいる際に、どうも取材が明後日の方向を向いているような印象を受けてならない。答えを持っていないところから取材をしたり質問を重ねたところで、そもそも相手も答えを持っていないのだから、答えが出るはずもなく、本当に答えを引き出すのであれば、答えを持っていないところに取材するべきであろう。それすらも察しつかないのかあるいは、ニュースのネタとして長く使えるという事業判断なのか、あるいは政権の疑惑を払拭させないという政治的意図が背景にあるのかはわ

からないが、この番組を視聴していて「なぜ、この人にばかり質問を重ねるのか」であるとか「なぜ、この人に取材しようとししないのか」という疑問を感じることは多々ある。

- ・中国全人代

元日本料理店経営者の「経営者から労働者になったのは気持ちの上で一番つらいです。」とのコメントが取り上げられており、これが「共産党」と名の付く政党による一党支配の国を生きる国民の言葉なのかと我が耳を疑うと同時に、国民ですら「経営者から労働者になったのは気持ちの上で一番つらい」と言うような国で長らく一党支配を続けている政党が未だに「共産党」の名を捨てていない、ということにも恐ろしさを感じた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年5月22日
<p>出演者：小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 富永京子（立命館大学准教授社会学者）</p>		
<p>検証テーマ：検察庁法改正案、コロナ禍の中で中国全人代が開催、全人代で香港「国家安全法」審議へ</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都がロードマップ公表 ・検察庁法改正案 ・コロナ禍の中で中国全人代が開催 ・全人代で香港「国家安全法」審議へ ・パキスタンで国内線旅客機が墜落 ・東海道新幹線が6月1日から通常ダイヤ ・スポーツ報道 ・神奈川県で27日にも全業種の休業要請解除の見通し ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検察庁法改正案：結論→問題あり <p>小川キャスターの「さて、検察庁法改正案の成立見送り、そして黒川検事長の辞職に続いてまた新たな展開を迎えています。安倍総理は国家公務員の定年を延長するための法律の改正案そのものを見直すという考えを表明したのです。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。</p> <p>ナレ「賭け麻雀が発覚した東京高検の黒川検事長、今日辞職が承認されました。ただ、野党側は幕引きは許さない構えです。」</p> <p>"階猛（「立国社」会派衆院議員）「大臣自ら責任をとって辞任する考えはありませんか。」</p> <p>森ゆうこ「私自身責任を痛感しております、昨晚総理に進退伺を提出したところでございます。総理からは強く慰留されました。」</p> <p>ナレ「野党側が問題視しているのが賭け麻雀をしていた黒川氏の処分の重さです。黒川氏の処分は国家公務員法の懲戒には当たらない訓告に留められていて、6000万円を超える退職金が支給されるのではないかと批判しました。」</p> <p>"小川淳也（「立国社」会派衆院議員）「今の国民感情に照らして、適切だとはとても思えません、撤回して重い処分を求めます。」</p> <p>安倍総理「検事総長が事案の内容等、諸般の事情を考慮をし、これは処分を行ったものである。」</p> <p>"ナレ「安倍総理のいう諸般の事情とは何なののでしょうか、法務省は」</p> <p>川原隆司（法務省刑事局長）「レートはいわゆるテンピン、これは具体的にもうあげますと麻雀の点の1000点を100円と換算するものでありまして、これは、もちろん賭け麻雀は許されるものではございませんが、まあ社会の実情を見ましたところ必ずしも高額とは言えないレートでやったと、いうことで。」</p> <p>ナレ「賭け麻雀のレートなどを考慮してこの処分になったと説明しました。さらに、野党側追及したのはが黒川</p>		

氏の定年延長を決めた閣議決定についてです。」 "

"西村智奈美（「立国社」会派衆院議員）「閣議決定にまでさかのぼって、私はやり直すべきだ、これを解除すべきだ、撤回すべきだと思いますが、いかがですか。」

安倍総理「すでに、辞職を承認する閣議決定が行われた中において、勤務延長の閣議決定事態を摘花しうる飛鳥はないとこのように認識しております。」 "

ナレ「今年 2 月、63 歳の誕生日を迎えて退官する見通しだった黒川氏、しかし、その直前になって政府は定年を延長する異例の人事を閣議決定しました。国家公務員の定年延長の規定は検察官に適用されないはずでしたが、従来の法解釈を変更したと表明したのです。検察庁法改正案に反対する意見書を法務省に提出した検察 OB は。」

"清水勇男（元最高検検事）「定年を延長するということはこれはあの検察庁法という法律を改正すれば可能ですが、改正しない限りは不可能です、内閣の閣議、要するに行政府の決定でその定年という制度を動かすということは変えるということはこれは明らかに立法権の侵害になると。」

ナレ「元検事らが提出した意見書は安倍総理の姿勢はフランスの絶対王政を確立したルイ 14 世の言葉を彷彿させると指摘しています。『朕は国家である』

"宮本徹（共産党衆院議員）「絶対君主、絶対王政の時代と同じ姿勢だというふうにはですね、批判されているんですよ。こういう批判について真摯に耳を傾けるべきではありませんか。」

安倍総理「あの、ルイ 16 世と同じとまで言われるとですね、多くの方々にはそれは違うのではないかと思うわけでございます、私がここに立っているのもですね民主的な選挙を経て選ばれた国会議員によって選出をされた、この根本的なところをよく見ていただかなければならないだろう、と。」 "

ナレ「こうしたなか、安倍総理は問題となっている検察官だけでなく国家公務員の定年延長そのものについて再検討する方針を示しました。」

安倍総理「今、このコロナショックの中で民間の給与水準の先行きが心配される中においてですね、役所先行の定年延長がこれは理解を得ることができるのかという議論があるのも事実であります、もう一度ここで検討すべきではないか。」

ナレ「野党側から批判の声が上がっています。」

安住淳（立憲民主党国対委員長）「先週までですね、強行採決をしてまで、この法案を通そうと重要だ重要だとあれだけ言っててですね、朝起きたらいきなり今度はこの法案は社会が変わって全く意味がないからやめますで、こんな人が総理大臣務まるんでしょうか。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り広げられた。

小川彩佳「検察庁法改正案を巡ってはネット上で抗議の声がわっと広がった、これも一つ特徴的なことでした、ここからはデモなどの社会運動を専門的に研究していらっしゃる立命館大学の准教授で社会学者の富永京子さんにお話をお伺いしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。」

"富永京子（立命館大学准教授社会学者）「よろしくお願いいたします。」

小川彩佳「よろしくお願いいたします。このインターネット上で声が一気に広がったわけですが、このようなオンラインデモと呼ばれるような抗議活動、これが広がったのはどうしてなのでしょう。」

富永京子「そうですね、まずオンラインデモのメリットとして、そのデモって多くの場合、大都市であるとか、人が非常に集まる住んでいる都市なんかで行われやすいと思うんですが、あのオンラインデモですとあまりデモ

のないような場所地域の人でも時間を問わず参加できるというのが一つ参加しやすい点ではありますよね。」

小川彩佳「一方、まあデメリットもあるわけですね。」

富永京子「そうですね、実際のデモですとある種行くだけでいい、というか、群衆に紛れられる、いるだけでいいということになります。オンラインでもというのはもちろん SNS 空間ですので、匿名ではありますけれども SNS の性格上やっぱり発言者と発言内容が明確に紐付いてしまいますということがあるわけですね。で、そうした状況のもとで発言に負荷がかかってしまう、これは参加のハードルですけれども、これがまず考えられるというのと、もう一つ、特に、身元を明かして SNS を使っているような例えば著名な発信者に対するバッシングなどにも繋がることもあるかと思います。」

小川彩佳「うーん、著名な発信者へのバッシングという言葉がありましたけれども今回芸能界でも大くの声が上がりましたがその中でも歌手のきゃりーぱみゅぱみゅさんのツイートには一部にはこうした書き込みが加えられました。『無知は罪』ですとか、『政治発言は慎重に』と、こうしたまあ発信者たたきとも言えるような書き込みこれは先生どのようにご覧になりましたか。」

富永京子「そうですね、まずその、例えば若い人による社会運動、昨年ですとグレタ・トゥンベリさんが環境運動を立ち上げたことで話題になりましたけれども職業とか年齢あと性別ですとか、発信者が政治から遠いと思なされがちな属性を持つような人物ですと、こういった形での批判を発言内容に関わらず受けやすい一面はあるのかなと思います。ただ一方で、政治の当事者であるということは誰しも、たとえ 18 歳未満で選挙権をもっていなくても変わらないわけですね。」

小川彩佳「そうですね、みなさんがこう発信する権利はあるわけですし、著名人の発信から、それに共感したり、疑問を覚えたり、あるいはこれは熟慮して発言しているのかなというふうに考えることも、まあ議論する、考える自分の違憲を整えていくきっかけにもなるわけですからね。」

富永京子「そうですね、最初は知識がなくても発言することで議論ができたり、知識が深まっていくということも十分ありうるわけで、自由な発言、闊達な議論というのが社会の発達改善につながるのかなと考えています。」

小川彩佳「日本では欧米に比べてこうした著名人の政治的な発信というのがあまりこれまで見られてこなかった、一般的ではなかったように感じるんですが。」

富永京子「そうですね、その例えば 2018 年にローラさんが政治的にあの偏向に関する発言をされたりとかはあったと思いますが、特にここ最近ではコロナ禍の状況下で政権への不満や意見が可視化される中で著名人の方もそうでない方もですけど多くの方が声を上げたというのは前進とある種捉えていいのかなと思います。」

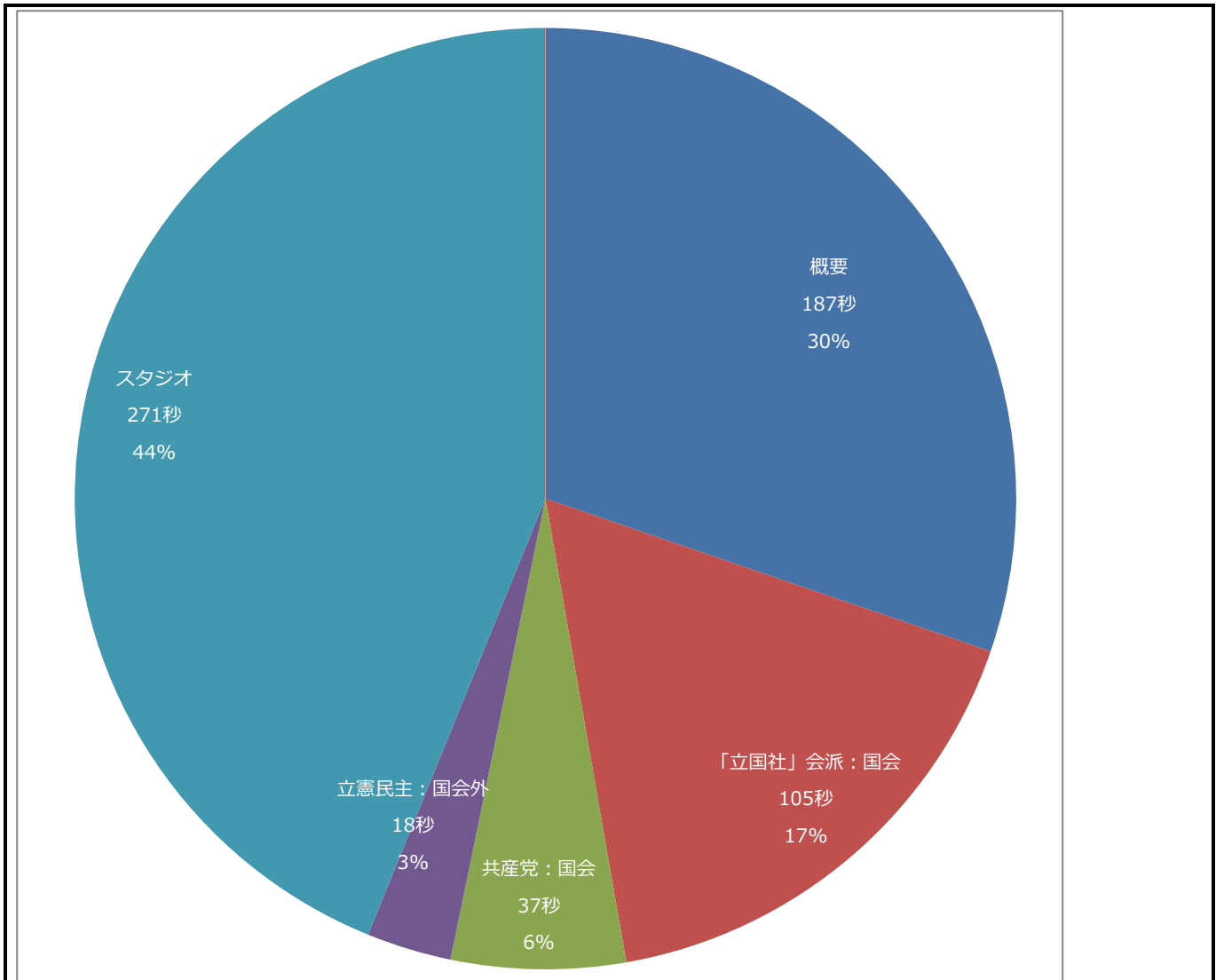
小川彩佳「これが定着していくのかどうかですね、」

富永京子「そうですね、普段政治的な発言をされないとされる方が発言をした、とそれがポジティブに取り上げられるにせよバッシングされるにせよ、発言内容、あの発言内容というよりやっぱり私達ってどうしても発言者に注目してしまう側面があると、ただやっぱり誰もが政治の当事者であっておそらく何らかの形で関心を持っていることはそんなに変わらないわけで、政治に関心があるということは前提にした上で誰が言ったかではなくて発言の内容について議論するということが重要になってくるのかなと思います。」

小川彩佳「はい、富永先生にお話をお伺いしました、どうもありがとうございました。」

富永京子「どうもありがとうございました。」

このトピックに当てられた時間は 618 秒で時間配分は以下の通りであった。



野党の中で最大会派である「立国社」が毎度厚みを持って取り上げられるのは議席状況に鑑みても、政治的公平を損なうような取り上げ方ではないと言えるが、衆議院の議席保有数が殆ど変わらない日本維新の会と共産党において共産党ばかり取り上げ、日本維新の会を全く取り上げない、という報道の在り方はどういうことであろうか。この問題に対して維新の会も取り上げているのにも関わらず報じないという姿勢は問題である。また、仮にこの問題に対して維新は取り上げていないとすれば、維新は他の問題を国会で取り上げているはずなのだが、その問題は報じない、というのは明らかに報道機関が恣意的なアジェンダセッティングをしていると言わざるを得ない報道姿勢であると言える。

このような報道姿勢が続くようであれば、放送法第四条一向二号「政治的に公平であること」および同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に抵触していると言わざるを得ないだろう。

・コロナ禍の中で中国全人代が開催：

スタジオでの小川キャスターの「さて、代わりまして、コロナの影響で延期となっていた中国の国会に当たる全人代、全国人民代表大会が始まりました。」および山本キャスターの「こちらは中国のここ 10 年間の GDP 成長率の推移です。新型コロナウイルスの影響でまるで崖のように落ち込んでいるのが分かります、世界経済のエンジン、中国経済をどう立て直すのか、全人代で打ち出される今年度の政策に世界が注目したのですが。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

ナレ「冒頭、新型コロナウイルスで犠牲になった人への黙祷で始まった異例づくめの今年の全人代、習近平国家主席ら最高指導部のメンバーを除く参加者の殆どがマスク姿です。例年であれば。」

テロップ「民族衣装を着た代表団」

ナレ「しかし、今年は。」

報告「新型コロナウイルス対応でしょうか、多くの救急車が人民大会堂の前に待機しています。」

ナレ「感染者が出た場合を想定してか、会場近くでは救急車も待機。更に取材陣に対しても PCR 検査を実施、会見もオンラインです。」

李克強（中国首相）「国を上げて広範な人民大衆が壮絶な努力と犠牲を払った結果、感染症対策は大きな戦略的成果を収めている。」

ナレ「感染症対策について、こうアピールした李克強首相、一方で注目されたのだが例年発表される GDP 国内総生産の成長率の数値目標です。中国の GDP はリーマンショック意向に大きく落ち込んだものの成長率は 5%以上を保っていました。しかし、今年の 1 月から 3 月期はマイナス 6.8%と四半期ベースで初めてマイナス成長となったのです。」

"西濱徹（第一生命経済研究所主席エコノミスト）「前期比だと -9.8%。年率換算するとマイナスのだいたい 33, 4%くらいになるんですね、これはやはりとんでもない状態だというのは間違いない。」

ナレ「李克強首相は GDP 成長率の今年の目標について不確定性が非常に高いことを理由に提示しませんでした。かつてない経済危機に陥っている中国。しかし、外出制限が緩和されて一ヶ月以上が経つ今、SNS 上では、」

SNS 「リベンジ消費到来か。」

ナレ「経済活動が再開された直後からリベンジ消費と名付けられた消費行動が。上海のネットと販売では一日で 2200 億円もの売上があったとしています。」

長濱徹「取り戻しのような動きが出てきているのは間違いないと思いますね、ただ問題はやはり雇用環境が悪くなる中で、以前のように高くても何でも買うぞという形ではなくなってきていて。」

ナレ「西濱氏は中国で急速に雇用が悪化していると指摘。3 月時点での失業者は最大 7000 万人、失業率は実に 20.5%との指摘も出るなどその足元は揺らいでいるのです。そうして職を失った人たちの受け皿となっているのが。」

濱野祐司（報告）「新型コロナウイルスの感染拡大後、こうした出前サービスのドライバーになった人が増えたということです。」

ナレ「中国メディアによると、1 月下旬からの二ヶ月間で宅配の配達員はおおよそ 58 万人増加、一回あたりの報酬額は日本円でおおよそ 135 円で、一日 10 回程度配達するといいますが。」

配達員「出前配達の仕事が稼げると思ったけど全然だめ。」

ナレ「配達員の急増で一人あたりの件数も減り、収入も減っているということです。」

"李克強「新たな雇用を積極的に創出し失業者の再就職を促します。」

ナレ「こうした事態を受け、今日の全人代では 8 兆元、日本円でおよそ 120 兆円規模の景気刺激策を打ち出しました。」

西濱徹「かつてのような勢いを取り戻すというふうになるにはですね、相当時間を要する状況にある。機械であったりとか部品であったり、そういったものを日本から中国に大量に輸出をしていますので、やはり中国国内で者が作れないということになってしまうと玉突き的に日本から中国向けの輸出に悪影響が出るというのは避けられない。」 "

VTR をうけてスタジオと中継の間では以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「はい、ここで北京支局と中継を結びます。濱野さん中国はおよそ 120 兆円ということで非常に大規模な景気刺激策を打ち出しましたね。」

濱野祐司「はい、リーマンショックのときに 4 兆元、日本円で 60 兆円近い財政出動を行って、世界の救世主とも呼ばれた中国ですが、その時の額でいうと倍になります。今回の全人代で内需の拡大ということも目標に掲げた中国指導部ですが、新型ウィルスで国外の経済に期待が持てないということの裏返しで当時とは違って先行きは不透明です。」

小川彩佳「うーん、リーマンのときとは前提が変わっていると、一方であの新型コロナの対応を巡っては、その成果が強調されてましたけれども、これ、市民の皆さんはどのように受け止めているのでしょうか。」

濱野祐司「はい、一方で新型コロナの対応を巡っては、そのせいかを強調していましたが、あ、武漢市では情報の隠蔽で家族失ったなどとして遺族が市政府に対して訴訟を検討する動きが出ています、しかしアメリカ在住の支援団体楊占青さんが私達の取材に応じ、当局が脅迫して市民が訴訟を断念しているケースが相次いでいる、と言うんです。楊さんは子供の進学に悪影響を及ぼす、と市民が脅された、当局による圧力に憤っていると訴えました。今日の演説では政府の対応の不十分な点を認めて大衆の一部の意見を重視すべきだと述べた李克強首相ですが、経済対策と並行して国民の不満をどこまで受け止めることができるのか、習近平指導部の今後の対応が注目されます。」

小川彩佳「濱野記者の報告でした。」 "

このトピックに当てられた時間は 461 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ 全人代で香港「国家安全法」審議へ：結論→特に問題なし

香港「国家安全法」について以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

"ナレ「抗議活動が相次いだ香港について、全人代で国家の安全を守る法の整備が審議されることになりました。民主派団体のメンバー周庭さんが国家を安全にするという法律の目的が曖昧で弾圧に繋がりがかねないと批判しました。」

周庭（香港民主活動家）「これからこういう弾圧がますます強まると思いますので、香港人にとってもとても重要な戦いとなります。」

ナレ「一方、香港政府は全人代の決定を支持するとしています。」 "

このトピックに当てられた時間は 53 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・ 検察庁法改正案

スタジオで SNS での著名人の政治的発信についての小川キャスターの「日本では欧米に比べてこうした著名人の政治的な発信というのがあまりこれまで見られてこなかった、一般的ではなかったように感じるんですが。」というコメントには驚きを隠せなかった。

たとえば、政治的発信をする著名人として、ゲーム「ドラゴンクエスト」の作曲家として有名なすぎやまこういち氏、あるいは漫画「課長島耕作」シリーズの弘兼憲史氏あるいは爆笑問題の大田光氏などがすぐに頭に浮かんだが、小川キャスターにはこうした人達は頭に思い浮かばなかったのだろうか。それとも自分が望んでいるような政治的発信ではなかったから「見えないもの」としてきたのだろうか。